

2024年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月31日

上場会社名 竹本容器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4248 URL <https://www.takemotopkg.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹本 笑子
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 戸田 琢哉 (TEL) 03(3845)6107
 定時株主総会開催予定日 2025年3月25日 配当支払開始予定日 2025年3月26日
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期の連結業績 (2024年1月1日～2024年12月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	15,626	9.1	945	81.1	968	59.5	639	117.1
2023年12月期	14,317	△3.8	522	△37.6	607	△33.1	294	△20.1

(注) 包括利益 2024年12月期 1,106百万円 (105.6%) 2023年12月期 538百万円 (△27.8%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	53.14	52.94	5.7	5.4	6.0
2023年12月期	24.40	24.30	2.7	3.3	3.6

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 ー百万円 2023年12月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	18,236	11,695	63.9	966.76
2023年12月期	17,919	11,010	61.2	911.00

(参考) 自己資本 2024年12月期 11,646百万円 2023年12月期 10,961百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	2,148	△723	△1,096	6,023
2023年12月期	1,779	△1,236	△1,548	5,481

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00	433	147.5	4.0
2024年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00	433	67.7	3.8
2025年12月期(予想)	—	18.00	—	18.00	36.00		60.2	

3. 2025年12月期の連結業績予想 (2025年1月1日～2025年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,900	1.4	500	△0.5	520	4.9	370	23.0	30.71
通期	15,850	1.4	980	3.7	1,010	4.3	720	12.5	59.77

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期	12,529,200株	2023年12月期	12,529,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期	482,304株	2023年12月期	497,200株
③ 期中平均株式数	2024年12月期	12,041,286株	2023年12月期	12,080,835株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2024年1月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、外国人観光客よるインバウンド需要の増加、雇用・所得環境の改善等により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、円安の影響による原材料価格の高止まりや物価の上昇、国際情勢の混乱の長期化もあり、依然として先行き不透明な状況は継続しています。また、中国においては、不動産価格の低迷等に起因した消費者の節約志向の継続により個人消費は依然として低迷しております。

このような状況において、当社グループは生活上必要不可欠な容器-カタチ(容)あるウツワ(器)-をつうじて、お客様の商品である内容物の価値を安全に包み、さらにその価値と個性化を高め「世界の器文化に貢献」することを使命とし、お客様の求める商品価値の創造とより高い満足を目指して、Standoutなパッケージングソリューションを提供しております。

また、当社グループは自然に還りやすい「生分解性樹脂」を使用した容器を開発して以来、植物由来のバイオマス原料やリサイクルされた原材料を使用した容器、付替・詰替機能の付加により繰り返し使用できる容器、樹脂原材料の使用量を削減した容器など、資源循環型パッケージングカンパニーを目指して幅広くラインナップするとともに新たな製品開発も進めております。

当連結会計年度における資源循環型パッケージング売上高は資源循環型パッケージングのラインナップ、品ぞろえの充実をお客様から評価いただいたことで、36億94百万円(連結売上高に占める割合23.6%)となりました。日本国内においては、資源循環型パッケージング売上の伸長に加えてスタンダードボトルを軸とした開発提案型の営業活動を継続して行いました。さらにお客様の新製品投入に合わせた新規案件の獲得に努めるとともに、リピート注文の大幅増加により売上高は125億19百万円(前年同期比9.8%増)となりました。

また、海外においては3月にイタリア・ボローニャ、5月には中国・上海、12月にはインド・ムンバイで展示会に出展し、サステナビリティをテーマとした新製品の紹介や顧客の需要の掘り起こしを行うなど、引き合い、受注増に繋げる取り組みを実施しました。このような取り組みに加え、インドでは化粧品市場の拡大に合わせた製品拡充により売上高は5億57百万円(前年同期比32.6%増)となりました。中国国内では消費者の節約志向の継続や同業他社との競争激化はあるものの、売上高は24億38百万円(前年同期比0.2%増)となりました。

損益面では、日本国内は新規顧客・新規案件獲得増に向けた営業活動の強化の他、大型案件の受注、販売価格の見直し等により売上増となり粗利益額も増加しました。中国国内では生産の自動化を進めるなど受注状況に見合った生産体制を構築することで損益の改善を図り通期で黒字化を達成しました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は156億26百万円(前年同期比9.1%増)、連結営業利益は9億45百万円(前年同期比81.1%増)となりました。また、連結経常利益は9億68百万円(前年同期比59.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は6億39百万円(前年同期比117.1%増)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億16百万円増加の182億36百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して5億39百万円増加の111億20百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金が5億42百万円増加、受取手形及び売掛金が46百万円減少、商品及び製品が98百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して2億22百万円減少の71億15百万円となりました。主な変動要因は、建物及び構築物(純額)が1億87百万円減少、金型(純額)が49百万円減少、機械装置及び運搬具(純額)が41百万円減少、建設仮勘定が88百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して1億74百万円増加の44億57百万円となりました。主な変動要因は、電子記録債務が1億97百万円増加、1年内返済予定の長期借入金が1億5百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して5億43百万円減少の20億83百万円となりました。主な変動要因は、長期借入金5億57百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して6億85百万円増加の116億95百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益計上による利益剰余金が6億39百万円増加、為替換算調整勘定が4億59百万円増加、剰余金

の配当が4億33百万円であったことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、60億23百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況については下記のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、21億48百万円(前年同期比20.7%増)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益9億65百万円、減価償却費10億27百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3億26百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、7億23百万円(前年同期比41.5%減)となりました。支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出7億34百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、10億96百万円となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出6億62百万円、配当金の支払額4億33百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、資源循環型社会の定着とともにお客様の環境配慮意識が高まるにつれ、植物由来のバイオマス原料やリサイクル原料を使用した製品等の使用、容器の軽量化、付替・詰替機能を付加した製品など、資源循環型パッケージングに対する需要は今後も継続的に増加することが見込まれます。

このような見通しのもと、当社グループは資源循環型パッケージングカンパニーとして「世界の器文化に貢献」していくため、「Standoutなパッケージングソリューション創造」に向けた提案活動を行ってまいります。また、当社は資源循環型パッケージングカンパニーとして「2030年ビジョン」の達成を目指しております。2030年ビジョンの達成のため①業界トップの開発提案力②開発、製造、販売における圧倒的スピード③WEBマーケティングの強化・確立が必要と認識しています。

顧客の求める資源循環型パッケージングを開発するだけでなく、資源循環型パッケージングを利用する意義や効果を提案することで開発提案力を発揮、容器の開発・製造・販売を連携させることによる容器提供に要する時間の短縮、インターネットツールを活用した情報発信や顧客間口を拡大していくことなどで当社が提供する製品の認知度を向上させ、2030年ビジョンとして掲げた目標の達成に努めます。

さらに、急激かつ厳しい外部環境変化や、同業他社との競争が厳しくなる中で、コア人材の確保の重要性が高まっていることから、人材採用・人材育成に対する投資や取組みを強化してまいります。

以上の取組みを進めることで2025年12月期の連結業績見通しは、売上高158億50百万円(前年同期比1.4%増)、営業利益は9億80百万円(前年同期比3.7%増)、経常利益は10億10百万円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億20百万円(前年同期比12.5%増)としております。

上記の見通しについては、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、今後、様々な要因によって業績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。開示すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,484,436	6,026,949
受取手形及び売掛金	3,034,150	2,987,678
商品及び製品	1,391,503	1,490,016
仕掛品	33,005	39,486
原材料及び貯蔵品	397,429	383,162
その他	242,018	195,455
貸倒引当金	△1,512	△2,358
流動資産合計	10,581,032	11,120,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,184,362	6,369,085
減価償却累計額	△2,698,193	△3,070,100
建物及び構築物（純額）	3,486,168	3,298,985
機械装置及び運搬具	6,215,210	6,543,663
減価償却累計額	△4,470,022	△4,840,324
機械装置及び運搬具（純額）	1,745,187	1,703,339
工具、器具及び備品	670,644	675,753
減価償却累計額	△503,940	△522,874
工具、器具及び備品（純額）	166,704	152,879
金型	5,541,107	5,825,049
減価償却累計額	△5,000,232	△5,333,446
金型（純額）	540,874	491,602
土地	752,410	752,410
建設仮勘定	78,973	167,111
有形固定資産合計	6,770,320	6,566,328
無形固定資産	370,846	357,696
投資その他の資産		
投資有価証券	7,305	7,384
繰延税金資産	11,887	11,131
その他	178,251	175,173
貸倒引当金	△156	△1,755
投資その他の資産合計	197,287	191,934
固定資産合計	7,338,454	7,115,960
資産合計	17,919,486	18,236,350

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	728,613	635,342
電子記録債務	1,658,541	1,855,795
1年内返済予定の長期借入金	662,850	557,392
未払法人税等	198,962	183,543
その他	1,033,793	1,225,472
流動負債合計	4,282,759	4,457,546
固定負債		
長期借入金	2,254,873	1,697,481
退職給付に係る負債	356,364	352,056
資産除去債務	9,868	9,907
繰延税金負債	5,165	23,807
固定負債合計	2,626,271	2,083,252
負債合計	6,909,031	6,540,798
純資産の部		
株主資本		
資本金	803,421	803,421
資本剰余金	1,030,584	1,031,379
利益剰余金	8,252,131	8,458,597
自己株式	△372,084	△360,945
株主資本合計	9,714,053	9,932,453
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,422	2,903
為替換算調整勘定	1,233,830	1,692,834
退職給付に係る調整累計額	10,829	18,254
その他の包括利益累計額合計	1,247,081	1,713,992
新株予約権	49,320	49,105
純資産合計	11,010,455	11,695,551
負債純資産合計	17,919,486	18,236,350

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
売上高	14,317,109	15,626,605
売上原価	10,498,908	11,297,527
売上総利益	3,818,200	4,329,078
販売費及び一般管理費	3,296,154	3,383,889
営業利益	522,045	945,188
営業外収益		
受取利息	18,458	33,122
受取配当金	156	87
為替差益	59,839	—
受取保険金	5,287	4,383
助成金収入	3,730	1,832
その他	16,783	13,338
営業外収益合計	104,255	52,765
営業外費用		
支払利息	16,096	13,334
為替差損	—	11,482
その他	2,757	4,519
営業外費用合計	18,854	29,336
経常利益	607,447	968,617
特別損失		
固定資産除却損	722	3,065
特別損失合計	722	3,065
税金等調整前当期純利益	606,724	965,551
法人税、住民税及び事業税	321,693	309,143
法人税等調整額	△9,746	16,522
法人税等合計	311,946	325,665
当期純利益	294,777	639,886
親会社株主に帰属する当期純利益	294,777	639,886

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
当期純利益	294,777	639,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	480
為替換算調整勘定	240,662	459,004
退職給付に係る調整額	2,949	7,425
その他の包括利益合計	243,512	466,910
包括利益	538,290	1,106,796
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	538,290	1,106,796

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	803,421	1,030,222	8,399,390	△479	10,232,555
当期変動額					
剰余金の配当			△442,036		△442,036
親会社株主に帰属する当期純利益			294,777		294,777
自己株式の取得				△374,000	△374,000
自己株式の処分		362		2,394	2,756
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	362	△147,258	△371,605	△518,502
当期末残高	803,421	1,030,584	8,252,131	△372,084	9,714,053

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,522	993,167	7,879	1,003,569	52,181	11,288,306
当期変動額						
剰余金の配当						△442,036
親会社株主に帰属する当期純利益						294,777
自己株式の取得						△374,000
自己株式の処分						2,756
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△99	240,662	2,949	243,512	△2,861	240,651
当期変動額合計	△99	240,662	2,949	243,512	△2,861	△277,850
当期末残高	2,422	1,233,830	10,829	1,247,081	49,320	11,010,455

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	803,421	1,030,584	8,252,131	△372,084	9,714,053
当期変動額					
剰余金の配当			△433,420		△433,420
親会社株主に帰属する当期純利益			639,886		639,886
自己株式の取得				△81	△81
自己株式の処分		795		11,220	12,015
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	795	206,466	11,138	218,399
当期末残高	803,421	1,031,379	8,458,597	△360,945	9,932,453

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	2,422	1,233,830	10,829	1,247,081	49,320	11,010,455
当期変動額						
剰余金の配当						△433,420
親会社株主に帰属する当期純利益						639,886
自己株式の取得						△81
自己株式の処分						12,015
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	480	459,004	7,425	466,910	△214	466,695
当期変動額合計	480	459,004	7,425	466,910	△214	685,095
当期末残高	2,903	1,692,834	18,254	1,713,992	49,105	11,695,551

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	606,724	965,551
減価償却費	996,904	1,027,251
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,721	2,644
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△802	2,435
受取利息及び受取配当金	△18,614	△33,210
支払利息	16,096	13,334
為替差損益 (△は益)	△54,140	△5,104
助成金収入	△3,730	△1,832
固定資産除却損	722	3,065
売上債権の増減額 (△は増加)	376,053	109,428
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△26,526	△62,856
仕入債務の増減額 (△は減少)	44,074	78,419
その他	22,650	354,602
小計	1,965,131	2,453,730
利息及び配当金の受取額	18,606	33,009
利息の支払額	△16,611	△13,243
助成金の受取額	3,730	1,832
法人税等の支払額	△196,562	△326,480
法人税等の還付額	5,528	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,779,822	2,148,847
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△124	△36,584
定期預金の払戻による収入	—	36,400
有形固定資産の取得による支出	△1,204,089	△734,108
無形固定資産の取得による支出	△36,659	△4,694
その他	4,420	15,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,236,452	△723,877
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△732,036	△662,850
自己株式の取得による支出	△374,000	△81
配当金の支払額	△442,036	△433,420
その他	3	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,548,069	△1,096,351
現金及び現金同等物に係る換算差額	117,639	213,471
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△887,059	542,090
現金及び現金同等物の期首残高	6,368,631	5,481,571
現金及び現金同等物の期末残高	5,481,571	6,023,661

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2024年12月31日 至 2024年12月31日)

当社グループは、容器事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	911.00円	966.76円
1株当たり当期純利益金額	24.40円	53.14円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	24.30円	52.94円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	294,777	639,886
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	294,777	639,886
普通株式の期中平均株式数(株)	12,080,835	12,041,286
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	-	
普通株式増加数(株)	47,834	45,745
(うち新株予約権)(株)	(47,834)	(45,745)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連 結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,010,455	11,695,551
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	49,320	49,105
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	10,961,135	11,646,445
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	12,032,000	12,046,896

(重要な後発事象)

該当事項はありません。